

### ☆ 2学期が終了します（通知表について）

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。



来週、23日（月）で2学期が終了します。3学期は1月7日（火）から始まります。あと10日ほどで今年も終わり、新年を迎えます。

さて、月曜日には担任から生徒全員に通知表が渡されます。通知表には、評定（54321）、担任による所見、出欠席の状況、表彰関係の記録等が示してあります。

各教科の「評定」は、授業態度・課題等の提出物・定期テスト・豆テスト等を総合的に判断しています。定期テストの成績のみで「評定」はつけません。日々の様々な取組を総合的に判断した結果とお考えください。

「所見」は日頃の学校生活での頑張りや課題をお伝えするためにまとめてあります。「評定」や「所見」が3学期以降に生かされるよう、お子さんをぜひ励ましてください。よろしく願いいたします。

また、交通事故やスマホ・SNSにかかわるトラブル、インフルエンザなど、冬休みは心配なこともたくさんあります。お年玉など大金を手にする機会もあります。ご家庭で保護者の皆さんの目が届いているときや学校で教員が指導しているときは大丈夫だと思いますが、遊びに出かけたときや部屋にこもってパソコン・スマホ等でゲームやSNSを行っている



ときなどに、事故や事件に巻き込まれることが無いとも言えません。

くれぐれもお子さんの日々の行動の予定等はご家庭で話し合っ、きちんと把握していただけるとありがたいです。



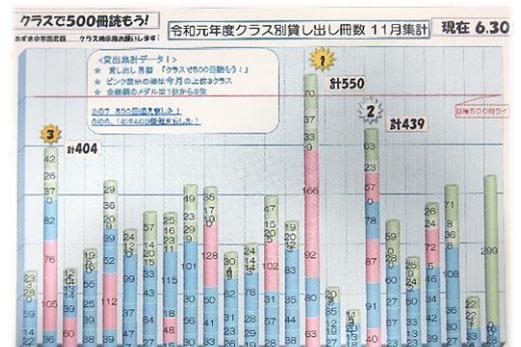
生徒が元気に3学期を迎えられるように職員一同がんばりますので、ご支援よろしく願いいたします。

### ☆たくさん本を読む

本校では、1年間で「クラスで500冊読もう！」という読書目標を掲げています。先日、11月までの貸し出し冊数の集計がまとまりました。

なんと、今年目標をもうクリアしてしまったクラスがあります。400冊以上読んでいるクラスも2クラスあります。目標まで、あと少しです。

現在、総貸し出し冊数は6,305冊です。1年生全体で2,027冊、2年生全体で2,159冊、3年生は受験を控えています、1,679冊と健闘しています。



本をたくさん読むのは良いことだと思っています。今は、どんな本が自分の好みであるのかを探す時期です。本の題名でも、表紙の美しさでも何でも良いのです。気になったら手に取ってみましょう。読んでみましょう。このたびノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんは「ロウソクの科学（著者：ファラデー）」を読んで化学に興味をもったそうです。本の力はすごいと思います。

## ☆ 目的をもつ、目標をつくる（冬休みを迎えるにあたって）

3年生は受験まっただ中で、「お正月どころじゃないよ！」という声が聞こえてきそうです。間近に大きな目標があり、わき目も振らず、まっしぐらに突き進んでいかなければならない時でもあります。しかし、「1年の計は元旦にあり」といいます。お正月、勉強しながらでも、これからの自分の1年を想像してみるといいかもしれません。



小さい頃に、「プロのサッカー選手になる！」とか「お菓子屋さんになりたい！」などの夢を話していた時はありませんか？

もちろん、「プロで活躍したい」という夢を、今も本気で考えている人はいるかもしれません。「夢や希望」を持つことは大切です。それが、今、頑張っているエネルギーになっている人もいるでしょう。

さて、中学生になって、その「夢や希望」が、少し現実的なものになってくる頃ではないでしょうか。

私は中学生の頃、すでに「学校の先生になりたい」と思っていました。休み時間に生徒とドッチボールやフットベース（ルールは野球ですが、サッカーボールを蹴って行う）をする光景だけが、漠然（ばくぜん）と頭の中にありました。とにかく、「休み時間に生徒と一緒に遊びたい」という理由だけで、「先生になりたい」と思っていました。その頃は私にとって、先生になることが「ゴール」でした。

高校生になると、もっと具体的に考えるようになりました。先生になるために、自分がどうしなければならないのかが、だんだんハッキリしてきました。「先生になるためには、どんなことが必要か」「どの大学に入ればいいのか」

「その大学に入るためには、今の高校で何番くらいに入っていなければならないのか」「その位置にいるためには、5教科合計で何点くらいとっていなければならないのか」「テストでその点数を取るために、学校で、家で、どうすればいいのか」



「目的」と「目標」という言葉があります。似ているようで違う言葉です。

「目的」は、自分が目指しているゴールです。「目標」は、そのゴールにたどり着くための一つ一つの過程です。

例えば、フルマラソン（42.195km）で10位以内に入ることを「目的」としましょう。

スタートして「競技場を出るまでに20番以内に入ろう」というのが、初めの「目標」です。「折り返し地点までに5人抜こう」というのが、次の「目標」です。「35km 地点までに3人抜こう」というのが、次の「目標」です。「どんなに苦しくても、競技場に入る前に2人抜こう」というのが、次の「目標」です。そして、「競技場に入ったら、ゴールまで誰にも抜かれない」というのが、最後の目標になります。結果として、10位以内に入ることができれば、「目的」が達成できたということです。

「目標」は「目的」を達成するためにあります。「目標」は過程であり、「目的」はゴールです。「目標」は複数あり、「目的」は一つです。「目的」は「目標」の先にあるものです。



「目的」をもつと、それを達成するために何をしなければならないのか（目標）が見えてきます。

「世界で活躍したい」「日本中の病気で苦しんでいる人を助けたい」「自分のプレーで世界中の人を感動させたい」というように「目的」は大きいほうがいいのですが、ともあれ、自分の未来を考えてみる時間を持ってほしいと思っています。